

2021年度第1回 研究評価委員会審議結果

(研究実施項目：事後評価)

No.	テーマ	研究実施項目名	研究責任者	内部評価	外部評価
1	1 A	最大級の地震に対する洋上風力発電設備・沿岸域構造物の耐震性能照査の技術開発	大矢陽介	4	3
2	1 B	複合観測情報に基づく津波予測技術の開発	高川智博	3	4
3	1 B	津波による港湾構造物変形への粒子法の適用	鶴田修己	3	
4	1 B	津波による構造物周辺の局所洗掘量の推定手法の構築	鈴木高二朗	4	
5	1 C	高潮高波・津波時の外郭施設の構造部材に作用する波力に関する研究	鈴木高二朗	4	4
6	3 A	炭酸塩で形成された離島の地形動態に関する解析手法開発	桑江朝比呂	5	5
7	3 A	波力発電機能付き浮消波堤に関する研究	米山治男	3	
8	4 A	大気・海洋に関する湾口横断観測と解析	細川真也	3	3

注) 評価評点は内部・外部とも 5:非常に優れている～4:優れている～3:普通～2:やや劣る～1:劣る

(研究実施項目：事前評価)

No.	テーマ	研究実施項目名	研究責任者	内部評価	外部評価
1	2 A	水中測位システムの開発3	松本さゆり	3	4

注) 評価評点は内部・外部とも 5:非常に優れている～4:優れている～3:普通～2:やや劣る～1:劣る

注) 2020年度第2回評価委員会審議後に実施が決まった研究のため、今回の委員会で追加して評価した。

(特定萌芽的研究：事後評価)

No.	研究実施項目名	研究責任者	内部評価	外部評価
1	外力特性の不確実性を考慮した洋上風力発電施設の応答評価	加島寛章	4	4
2	AIによる水中作業画像の画質改善	高尾俊輔	4	4
3	水中ドローンを活用した海洋構造物の測定に関する検討	野上周嗣	3	
4	初期高温履歴を受けたコンクリートへの海水作用による劣化メカニズムの	与那嶺一秀	3	

注) 評価評点は内部・外部とも 5:非常に優れている～4:優れている～3:普通～2:やや劣る～1:劣る

(特定萌芽的研究：事前評価)

No.	研究実施項目名	研究責任者	内部 評価	外部 評価
1	海底液状化土砂流動が浮体式洋上風力・海洋構造物に及ぼすインパ ^o 外評価と非線形挙動解析	村田一城	4	4
2	シラス発泡体を用いたコンクリート用高性能マイクロカプセルの開発	小池賢太郎	4	4
3	分級堆積構造を有する鉱滓の力学的・物理化学的特性に関する実験的研究	松村 聡	4	
4	4Kカメラによる沿岸災害モニタリングとビッグデータ分析	田村 仁	4	
5	2次元コードを活用した水中ロボットの自動化・遠隔化に関する検討	野上周嗣	3	
6	港湾構造物水中部の点検用水中ロボットの自動操縦手法の検討	喜多 司	4	
7	触診感覚で評価可能なコンクリート中鉄筋の腐食探査手法の開発	橋本永手	4	
8	カーボンニュートラル実現に向けた港湾構造物におけるGX（グリーントランスフォーメーション）戦略	中村 董	4	

注) 評価評点は内部・外部とも 5:非常に優れている～4:優れている～3:普通～2:やや劣る～1:劣る

注) 追加応募案件である。

(研究テーマ：中間評価)

テーマ	テーマ名	テーマ リーダー	内部 評価	外部 評価
1 A	地震災害の軽減や復旧に関する研究開発	野津 厚	4	3
1 B	津波災害の軽減や復旧に関する研究開発	河合弘泰	4	3
1 C	高波・高潮災害の軽減や復旧に関する研究	河合弘泰	4	3
2 A	国際競争力確保のための港湾や空港機能の強化に関する研究開発	吉江宗生	3	4
2 B	インフラのライフサイクルマネジメントに関する研究	伊豆 太	4	3
2 C	インフラの有効活用に関する研究開発	伊豆 太	3	3
3 A	海洋の開発と利用に関する研究	下迫健一郎	4	3
4 A	沿岸生態系の保全や活用に関する研究開発	中川康之	4	4
4 B	沿岸地形の形成や維持に関する研究	中川康之	3	3

注) 評価評点は内部・外部とも 5:非常に優れている～4:優れている～3:順調～2:やや劣る～1:劣る

注) 評価制度のP D C Aサイクルの効果的運用の観点から、個別研究実施項目の途中成果等の発現状況等も踏まえた評価を試行している。